

Synoptics Gospels

シノプティクス ゴスペルズ

知っておきたいキリスト教のことば (56)

共観福音書 きょうかんふくいんしょ

新約聖書には 4 つの福音書が収められています。そのうちの最初の 3 つ、マタイ・マルコ・ルカによる福音書を「共観福音書」と呼びます。

3 つの福音書を並べて読んでいくと、イエス様の活動や言葉についての共通記事が多く見られることがわかります。例えばマルコによる福音書にある 91%の記事は、マタイ・ルカの両方、またはいずれかに見出すことができます。

またマタイ福音書の 50%、ルカ福音書の 40%の記事は、マルコ福音書と共通しています。

しかしそれぞれの記事を比較してみると、少しずつ違いがあることに気が付きます。イエス様が悪魔に誘惑された記事を見てみると、マタイ・ルカ福音書には三度の誘惑を退けた場面がありますが、マルコ福音書にはありません。さらにその誘惑の順序も、マタイ福音書とルカ福音書では異なります。

現在の聖書学では、マタイ福音書とルカ福音書は、マルコ福音書を参考にして編集されたと考えられています。さらにマタイ・ルカに共通する資料(Q 資料)や、マタイ・ルカそれぞれに特殊な資料を持っていたのではないかと考えられています。そして編集の場面で、それぞれの著者の神学的立場が反映されたのです。

例えば、マルコ福音書のイエス様は人間としての面が強調され、マタイでは律法の完成者、そしてルカでは悔い改めを促す方として、描かれているということが挙げられます。

わたしたちが聖書を読むとき、福音書によって少しずつ違ったイエス様の姿に出会います。そのことで、物を三次元で見るように、イエス様のことを多面的に知ることが出来るのではないのでしょうか。

次回は「共同体」です。お楽しみに。



「4人の福音書記者とその象徴」

わたしたちの間で実現した事柄について、最初から目撃して御言葉のために働いた人々がわたしたちに伝えたとおりに、物語を書き連ねようと、多くの人が既に手を着けています。

(ルカによる福音書 1章1~2節)

